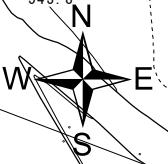


(様式－１)

工 事 名		令和４年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）										設計書	
施 工 箇 所		安曇野市 市営住宅アルプス団地										金抜き設計書	
設 計 大 要							施 工 方 法			請 負			
<div>■安曇野市営住宅アルプス団地 ４棟の解体工事</div> <div><div>・昭和44年建設 1～3号 床面積：95.44㎡</div><div>・昭和44年建設 4～7号 床面積：127.26㎡</div><div>・昭和44年建設 8～10号 床面積：95.44㎡</div><div>・昭和44年建設 11～13号 床面積：95.44㎡</div></div>							施 工 期 間			日間			
							契 約 年 月 日			令和 年 月 日			
							竣 工 予 定 年 月 日			令和 5 年 3 月 3 日			
							契 約 保 証 方 法			金 銭 的 保 証			
							<div>・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。</div> <div>・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。</div>						

位置図

令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事(I期)



工事場所

県営住宅アルプス団地

市営住宅アルプス団地

アルプス区公民館

県営住宅アルプス団地

大原公園
大原公園

1:2,500

0 45 90 180 m

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）

2. 工事場所： 安曇野市 市営住宅アルプス団地

3. 工事概要： 市営住宅アルプス団地4棟の解体工事

【昭和44年建設】

1号から3号	3戸	CB造平屋	95.44 m ²
4号から7号	4戸	CB造平屋	127.26 m ²
8号から10号	3戸	CB造平屋	95.44 m ²
11号から13号	3戸	CB造平屋	95.44 m ²

4. 工 期： 契約日から 令和5年3月3日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

- (3) 日・祝日は基本休工とする。休日、夜間に作業を行う場合は事前に協議をすること。
- (4) 周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (5) 新型コロナウイルス感染症対策は十分に講じること。
- (6) 各官公庁手続きについて、
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予想することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働

きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。工事発注前に市で実施したアスベスト調査資料については、受注者へ資料提供を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

~~(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。~~

- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

~~18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について~~

~~受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。~~

~~ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。~~

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

~~22. 完成写真の著作権の権利等について~~

~~工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。~~

~~① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。~~

~~② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。~~

~~イ. 完成写真を公表すること。~~

~~ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。~~

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

番号	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	令和４年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）						
I	建築主体工事		1	式			
II	機械設備工事		1	式			
	直接工事費計						
III	共通仮設費	率仮設	1	式			
		積上仮設	1	式			
IV	現場管理費		1	式			
V	一般管理費		1	式			
	諸経費計						
	工事価格						
VI	消費税相当額	#DIV/0!	1	式			
	総合計						

[illegible]

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
I	建築主体工事						
1	S44 1-3号 解体	床面積：95.44㎡	1.00	式			
2	S44 4-7号 解体	床面積：127.26㎡	1.00	式			
3	S44 8-10号 解体	床面積：95.44㎡	1.00	式			
4	S44 11-13号 解体	床面積：95.44㎡	1.00	式			
5	外構 敷地周囲ロープ囲い		1.00	式			
	項目計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	S44 1-3号 解体						
1-2	解体工事						
	解体費						
	内装仕上材撤去	間仕切壁撤去含む 集積共	95.40	m ²			
	屋根葺き材撤去	洋瓦 集積共	135.00	m ²			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共	135.00	m ²			
	C B造上屋解体	R C臥梁含む 集積共	95.40	m ²			
	基礎解体	集積共	95.40	m ²			
	外構解体	P C塀等 集積共	1.50	m ³			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	S44 1-3号 解体						
1-2	解体工事	つづき					
	発生材積込	木くず類	9.50	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材積込	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材積込	廃置	0.39	t			
	発生材積込	洋瓦	2.80	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材積込	金属くず	5.60	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材積込	P C囲い	1.00	式			
	発生材積込	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	S44 1-3号 解体						
1-2	解体工事	つづき					
	発生材運搬	木くず類	9.50	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材運搬	廃置	0.39	t			
	発生材運搬	洋瓦	2.80	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材運搬	金属くず	5.60	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材運搬	P C囲い	1.00	式			
	発生材運搬	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	S44 1-3号 解体						
1-2	解体工事	つづき					
	発生材処分	木くず類	9.50	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材処分	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材処分	廃置	0.39	t			
	発生材処分	洋瓦	2.80	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材処分	金属くず	5.60	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材処分	P C囲い	1.00	式			
	発生材処分	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

[illegible]

[illegible]

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	S44 4-7号 解体						
2-2	解体工事						
	解体費						
	内装仕上材撤去	間仕切壁撤去含む 集積共	127.00	m ²			
	屋根葺き材撤去	洋瓦 集積共	178.00	m ²			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共	178.00	m ²			
	C B造上屋解体	R C臥梁含む 集積共	127.00	m ²			
	基礎解体	集積共	127.00	m ²			
	外構解体	P C塀等 集積共	1.60	m ³			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	S44 4-7号 解体						
2-2	解体工事	つづき					
	発生材積込	木くず類	12.60	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	0.22	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.32	t			
	発生材積込	石膏ボード類	1.55	t			
	発生材積込	廃置	0.51	t			
	発生材積込	洋瓦	3.70	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	1.30	t			
	発生材積込	金属くず	7.30	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材積込	P C囲い	1.00	式			
	発生材積込	屋根アンテナ	1.00	式			
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	S44 4-7号 解体						
2-2	解体工事	つづき					
	発生材運搬	木くず類	12.60	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	0.22	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.32	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	1.55	t			
	発生材運搬	廃置	0.51	t			
	発生材運搬	洋瓦	3.70	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	1.30	t			
	発生材運搬	金属くず	7.30	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材運搬	P C囲い	1.00	式			
	発生材運搬	屋根アンテナ	1.00	式			
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	S44 4-7号 解体						
2-2	解体工事	つづき					
	発生材処分	木くず類	12.60	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	0.22	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.32	t			
	発生材処分	石膏ボード類	1.55	t			
	発生材処分	廃置	0.51	t			
	発生材処分	洋瓦	3.70	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	1.30	t			
	発生材処分	金属くず	7.30	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	117.00	t			
	発生材処分	P C囲い	1.00	式			
	発生材処分	屋根アンテナ	1.00	式			
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	S44 4-7号 解体						
2-3	アスベスト除去工事						
	除去工事	レベル3（非飛散性）					
	軒天スレート板撤去	養生含む	41.00	m²			
	モルタル撤去	養生含む	40.90	m²			
	外部床垂直モルタル撤去	養生含む	146.00	m³			
	サッシ廻りコーキング撤去	養生含む	1.50	m			
	円筒撤去	養生含む	4.00	カ所			
	天井スレート板撤去	簡易養生含む	37.50	m²			
	内部床シート・壁紙撤去	簡易養生含む	50.40	m²			
		シート11.1 クロス38.2					
	次頁へ続く						

[illegible]

[illegible]

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3	S44 8-10号 解体						
3-2	解体工事						
	解体費						
	内装仕上材撤去	間仕切壁撤去含む 集積共	95.40	m ²			
	屋根葺き材撤去	洋瓦 集積共	135.00	m ²			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共	135.00	m ²			
	C B造上屋解体	R C臥梁含む 集積共	95.40	m ²			
	基礎解体	集積共	95.40	m ²			
	外構解体	P C塀、U字溝等 集積共	1.50	m ³			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3	S44 8-10号 解体						
3-2	解体工事	つづき					
	発生材積込	木くず類	9.50	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材積込	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材積込	廃置	0.39	t			
	発生材積込	洋瓦	2.80	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材積込	金属くず	5.60	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材積込	P C囲い	1.00	式			
	発生材積込	屋根アンテナ	1.00	式			
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3	S44 8-10号 解体						
3-2	解体工事	つづき					
	発生材運搬	木くず類	9.50	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材運搬	廃置	0.39	t			
	発生材運搬	洋瓦	2.80	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材運搬	金属くず	5.60	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材運搬	P C囲い	1.00	式			
	発生材運搬	屋根アンテナ	1.00	式			
	次頁へ続く						

[illegible]

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3	S44 8-10号 解体						
3-2	解体工事	つづき					
	発生材処分	木くず類	9.50	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材処分	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材処分	廃置	0.39	t			
	発生材処分	洋瓦	2.80	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材処分	金属くず	5.60	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材処分	P C囲い	1.00	式			
	発生材処分	屋根アンテナ	1.00	式			
	次頁へ続く						

[illegible]

[illegible]

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
4	S44 11-13号 解体						
4-2	解体工事						
	解体費						
	内装仕上材撤去	間仕切壁撤去含む 集積共	95.40	m ²			
	屋根葺き材撤去	洋瓦 集積共	135.00	m ²			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共	135.00	m ²			
	C B造上屋解体	R C臥梁含む 集積共	95.40	m ²			
	基礎解体	集積共	95.40	m ²			
	外構解体	P C塀、U字溝等 集積共	1.40	m ³			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
4	S44 11-13号 解体						
4-2	解体工事	つづき					
	発生材積込	木くず類(木杭含む)	11.20	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材積込	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材積込	廃置	0.39	t			
	発生材積込	洋瓦	2.80	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材積込	金属くず	5.60	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材積込	P C囲い	1.00	式			
	発生材積込	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
4	S44 11-13号 解体						
4-2	解体工事	つづき					
	発生材運搬	木くず類	11.20	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材運搬	廃置	0.39	t			
	発生材運搬	洋瓦	2.80	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材運搬	金属くず	5.60	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材運搬	P C囲い	1.00	式			
	発生材運搬	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
4	S44 11-13号 解体						
4-2	解体工事	つづき					
	発生材処分	木くず類	11.20	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	0.17	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.24	t			
	発生材処分	石膏ボード類	1.20	t			
	発生材処分	廃置	0.39	t			
	発生材処分	洋瓦	2.80	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	1.00	t			
	発生材処分	金属くず	5.60	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	84.60	t			
	発生材処分	P C囲い	1.00	式			
	発生材処分	屋根アンテナ	1.00	式			
	小計						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
4	S44 11-13号 解体						
4-3	アスベスト除去工事						
	除去工事	レベル3（非飛散性）					
	軒天スレート板撤去	養生含む	34.00	m²			
	モルタル撤去	養生含む	68.80	m³			
	外部床垂直モルタル撤去	養生含む	107.00	m³			
	サッシ廻りコーキング撤去	養生含む	1.10	m²			
	円筒撤去	養生含む	3.00	カ所			
	天井スレート板（化粧ボード含む）撤去	簡易養生含む	32.90	m²			
	内部床シート・壁紙撤去	簡易養生含む	40.70	m²			
		シート7.4 クロス33.3					
	次頁へ続く						

[illegible]

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	屋外工事						
	給水露出配管撤去	VB15・20A	65.0	m			
	保温撤去		65.0	m			
	ガス給湯器撤去	16・20号	2.0	箇所			
	臭突撤去		13.0	箇所			
	丸桧撤去	CONφ300	39.0	箇所			
	角桧撤去	□300	26.0	箇所			
	排水配管撤去	VU100	195.0	m			
	放流管キャップ止め	φ100	5.0	箇所			
	給水配管撤去	VU25	130.0	m			
	水道メーター撤去	止水栓、BOX共	13.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	搬出運搬		1.0	式			
	処分費	建築工事に含む					
	細目計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	機械別紙明細書1						
	閉栓工事（タイプB）	本管距離3.0m 仮復旧					
	上水道工事						
	資材費						
	サドル付分水栓閉栓キャップ（管財類）	φ25mm	1.0	個			
	労務費						
	鋼管 小口径管ねじ込み接合	φ25mm	2.0	口			
	ホリチン管切断 25mm		1.0	口			
	ホリチン管敷設（据付工）	φ25mm	4.5	m			
	仮設配管材の撤去（再使用しない場合30%）						
	土工事						
	舗装版切断工 アスファルト舗装版 15cm以下		8.2	m			
	アスファルトがら・コンクリートがら掘削・積込		0.47	m ³			
	0cm超え10cm以下小型バックホウ山積0.13m ³ （平積0.1m ³ ）						
	アスファルトがら・コンクリートがら運搬費9.0km以下		0.1	m ³			
	AsCo塊無筋小型バックホウ山積0.13m ³ （平積0.1m ³ ）						
	次頁へ続く						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	閉栓工事						
	土工事	つづき					
	処分費 As掘削廃材		0.3	t			
	管路掘削（ハックル掘削積込）		3.2	m³			
	小型ハックル山積0.13m³（平積0.1m³）						
	管路掘削（機械埋戻）	洗砂	1.6	m³			
	小型ハックル山積0.13m³（平積0.1m³）						
	管路掘削（機械埋戻）	クラッシュラン40mm以下	1.1	m³			
	小型ハックル山積0.13m³（平積0.1m³）						
	発生土処分費	場内敷き均し	1.7	m³			
	路盤工 1.8m未満（タンバ）		2.1	m²			
	厚さ15cm 上層路盤（t／15cm）						
	舗装工（人力施工）t＝5cm	車道及び路肩	2.1	m²			
	アスファルト混合物（密粒度（13F））プライマー						
	白線復旧		1.0	式			
	機械別紙明細計	一カ所当たり					

令和 4 年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
	表紙・図面リスト		
A－01	配置図・案内図	A－11	仕上表 S44-11-13
A－02	仮設計画図	A－12	平面図（3世帯）S44-11-13
A－03	仮設計画図（電気・設備計画）	A－13	平面詳細図
A－04	解体仕様書	A－14	立面図1（3世帯）
A－05	仕上表 S44-1-3	A－15	立面図2（4世帯）
A－06	平面図（3世帯）S44-1-3	A－16	展開図1
A－07	仕上表 S44-4-7	A－17	展開図2
A－08	平面図（4世帯）S44-4-7	A－18	基礎伏図・小屋伏図
A－09	仕上表 S44-8-10	A－19	基礎躯体詳細図・小屋梁図
A－10	平面図（3世帯）S44-8-10	A－20	外構図

令和4年9月

案内図



敷地場所：安曇野市 豊科 田沢 7039-32

用途地域：都市計画区域内

田園環境区域

建ぺい/容積率： 60/100（%）

防火地域：指定なし

敷地面積： 11,069.77m²（道路面積含む）

配置図

解体工事対象部分を示す

特記事項

- 工事現場及び搬入道路、周辺道路は常に清掃・整頓整備に心掛け、周辺住民に迷惑をかけることの無いよう配慮すること
- 近隣に燃料槽や学校があり、昼下校時の搬出入に特に注意し、大型車の搬入などのある場合、交通路警員などに協働すること
- 本工事には必要不可欠の手続き・書類（建築関係図面、道路使用申請書等）は、受注者の責任において速やかに行い、その費用は本工事に含むものとする。また、検査に要する諸費用も受注者負担とする
- 工事期間中は労働安全衛生法等の関係法令に従って、危険防止、災害防止に努め、遺漏無きように万全を尽くすこと
- 近隣対策（事前協議、苦情処理、運転改善等）は充分に行う。また、近隣からのクレームがあった場合には速やかに監督員に連絡し、指示に従い処理する
- 工事電気、工事用水については、受注者にて用意し費用負担すること
- 工事中心において、たがへた運搬車を破損した場合は、速やかに所管へ連絡を行いその指示に従うこと
なお、その場合の修復費用負担は受注者とする
- 低騒音低振動型の機械を使用し、騒音、振動、粉塵は最小限に抑え、その防止に努めること
- アスベストの含まれる恐れのある建材等、廃材処理については関係法令に従って適切に処理を行うこと
- 関係機関（安曇野市（上下水）、中部電力、NIT、ガス業者など）との連絡協議調整を充分に行い、申請が必要なものも申請を行うべきに注意すること
- 完了検査による手続、監督員の承認を得て残工事があった場合は、速やかに処理を始め、監督員の承認を得て完成書と共に引き渡しを行うこと
- 引き渡し後に生じたい施工の欠陥及び設備欠陥故障は契約書に基き速やかに修理する
- 工期は遵守すること
- 施工後の検査が困難となる工事は、随時監督員の立会い検査を受け、必要により写真に記録しておくこと

外構構想計画

工事エリア道路内除く部分の外構想 左本杭2.0m間隔1500×500 180m相当（幅）2段ロープ張り
工事エリア道路を除く1380m相当 整地後 1100mm 砕石敷 転圧のこと

[illegible]

※工程については参考工程表です。2工区制で工程を並行施工など工期内であれば修正協議されても構いません

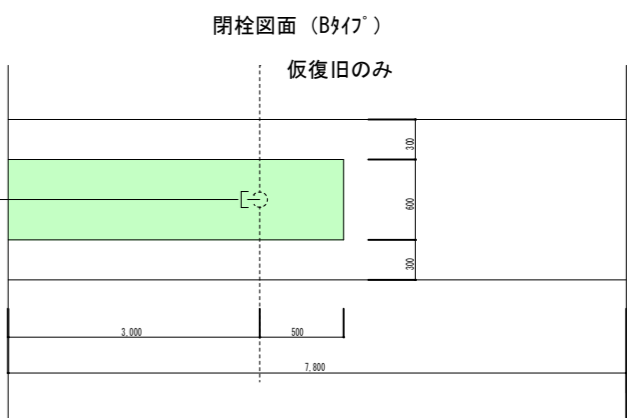
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和 4 年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）	MAP NAME	MAP NO. A-01
				配置図 案内図			
			DATE R04.08.16	SCALE S=1/1000、NON			



仮設計画図

…敷き鉄板：5*10 t=22

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和 4 年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）	MAP NAME 仮設計画図	MAP NO. A－02
	DATE R04.08.16			SCALE S=1/400			



機械設備
排水は敷地内配管撤去、敷地内にてキャッピング
上水は本管手前でキャッピング止め
道路復旧が見込まれる部分が重なる場合は仮復旧とする (Bタイプ)
敷地内雨水排水ます撤去
水道メーターは撤去し安曇野市上水道課に返却のこと
ガスメーターなどは専門業者対応 (工事対象外)
申請については施工業者対応

電気設備
電気切り離し (引込部分：一時側) は専門業者による
電話切り離し (引込部分：一時側) は専門業者による
申請については施工業者対応

仮設計画図

…敷き鉄板：5×10 t=22

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）	MAP NAME 仮設計画図（電気・機械設備）	MAP NO. A-03
	DATE R04.08.16		SCALE S=1/400				

[illegible]

建築概要

工 事 名	令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事		
建 築 主	安曇野市		
工事場所	安曇野市豊科田沢7039-32		
用途地域	指定なし 安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構 造	C B造 平屋建て		
最高高さ	4, 5 0 0 mm	最高軒高さ	3, 1 5 0mm

各 面 積	3戸建て	4戸建て	合 計
敷 地 面 積	m ²		11,069.77 m ²
建 築 面 積	m ²	0 m ²	m ²
延 床 面 積 1棟	95.43 m ²	127.24 0 m ²	m ²
該当建物	昭和44年度建設 1号～3号		

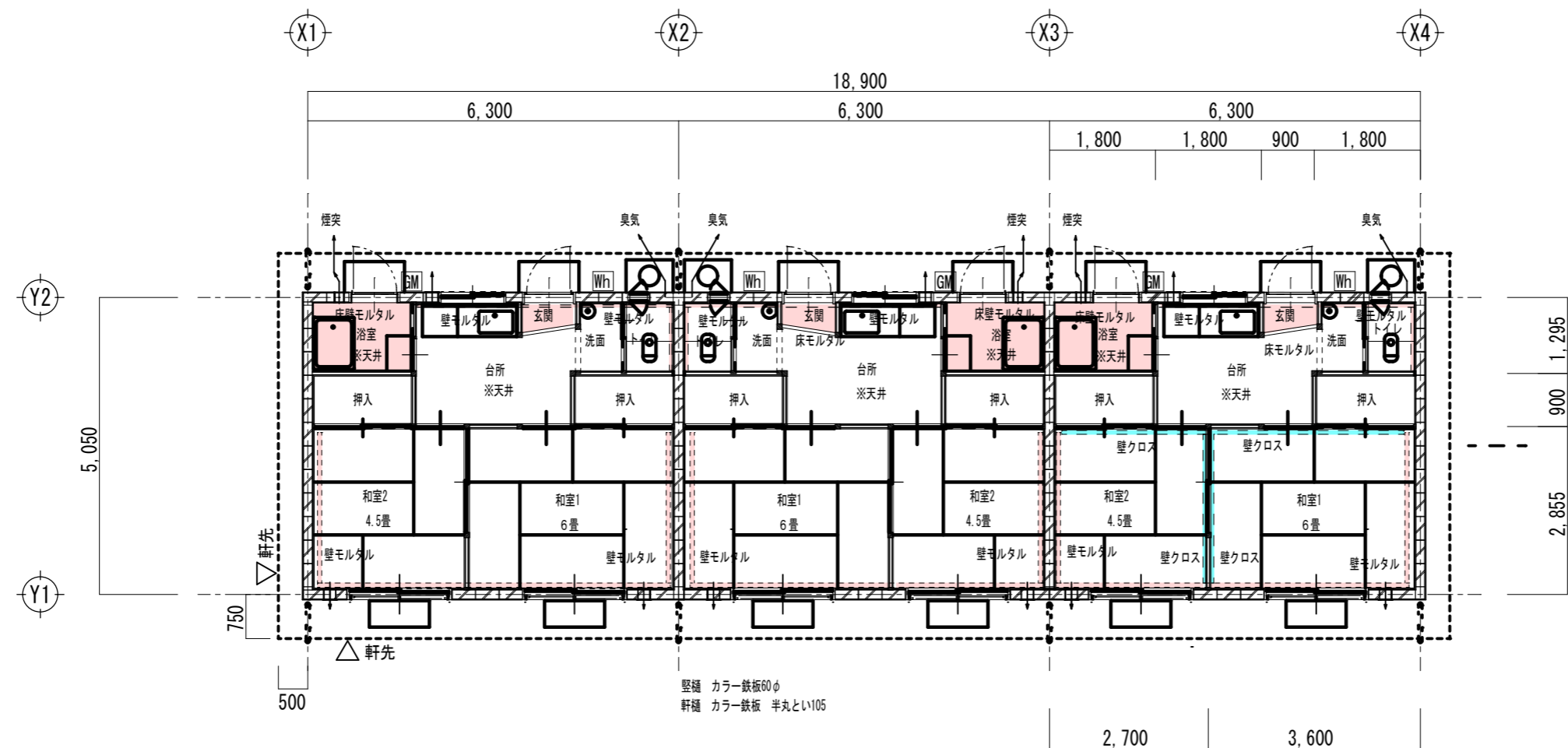
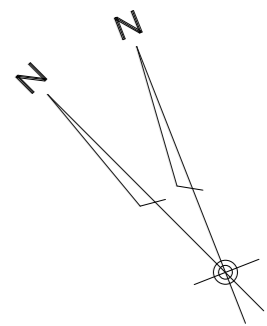
外部仕上表

屋 根	瓦葺 瓦棧 アスファルトフイキング	ポーチ	コンクリート打放し金鍍押さえ
	野地板 t=12.0 垂木45*45@455	床下	木製
破風・鼻隠し	カラーG L 銅板 下地 木	断熱材	天井：なし 壁：なし 床下：なし 基礎：なし
軒 裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート) ※アスベスト調査対象		
外 壁	C B壁モルタル下地の上リシン ※アスベスト調査対象	金物	樋：カラー銅板
基 礎	基礎コンクリート モルタル仕上げ	その他	煙突 臭突 換気扇 レジスター 床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具 ※アスベスト調査対象（コーキング）		

内部仕上表

階	室 名	床	下地	巾木	下地	壁	腰 部	壁	壁（上部含む）	天井	平均天井高	mm	備 考		
1	玄関	金鍍押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル	木下地 CB下地	パネチルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t 15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	—		框 75×135		
	和室 1（6.0畳）	タタミ t=60	荒板張り t 12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パネチルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t 15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300		壁一部：壁紙 みなしアスベスト		
	和室 2（4.5畳）	タタミ t=60	荒板張り t 12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パネチルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t 15 AEP塗装	※	P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300		壁一部：壁紙 みなしアスベスト		
	押入 1	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板		ラワン合板	CH = 2,300		押入・中段あり		
	押入 2	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板		ラワン合板	CH = 2,300		押入・中段あり		
	浴室	金鍍押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル		モルタル		モルタル		セメント板 t=6.0 ※ （スレート）	CH =		円筒管：みなしアスベスト		
	台所	無垢フローリング（板） t 12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パネチルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t 15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		セメント板 t=6.0 ※ （スレート）	CH = 2,330		ガス台流し		
	トイレ	無垢フローリング（板） t 12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パネチルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t 15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330		下部 便槽（基礎）		
	手洗い	無垢フローリング（板） t 12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パネチルボード t6.0 AEP塗装 モルタル t 15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330				
						凡例									
						※アスベスト調査対象を示す									
					昭和44年度建設 1号～3号					DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME		MAP NAME	MAP NO.
												令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（I期）		仕 上 表 S44-1-3	A-05
								DATE		R04.08.16		SCALE	S=NON		

④ 昭和44年度建設 1号～3号



アスベスト関連 (レベル3みなし含む)
凡 例
※天井
天井材: レベル3
モルタル・モルタル下地
壁クロス
床シート

平面図 (3 世 帯) S = 1 : 100

	昭和44年度建設 1号～3号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（I期）	MAP NAME 平面図1（3世帯） S44-1-3	MAP NO. A-06		
			DATE R04.08.16			SCALE S=1/100			

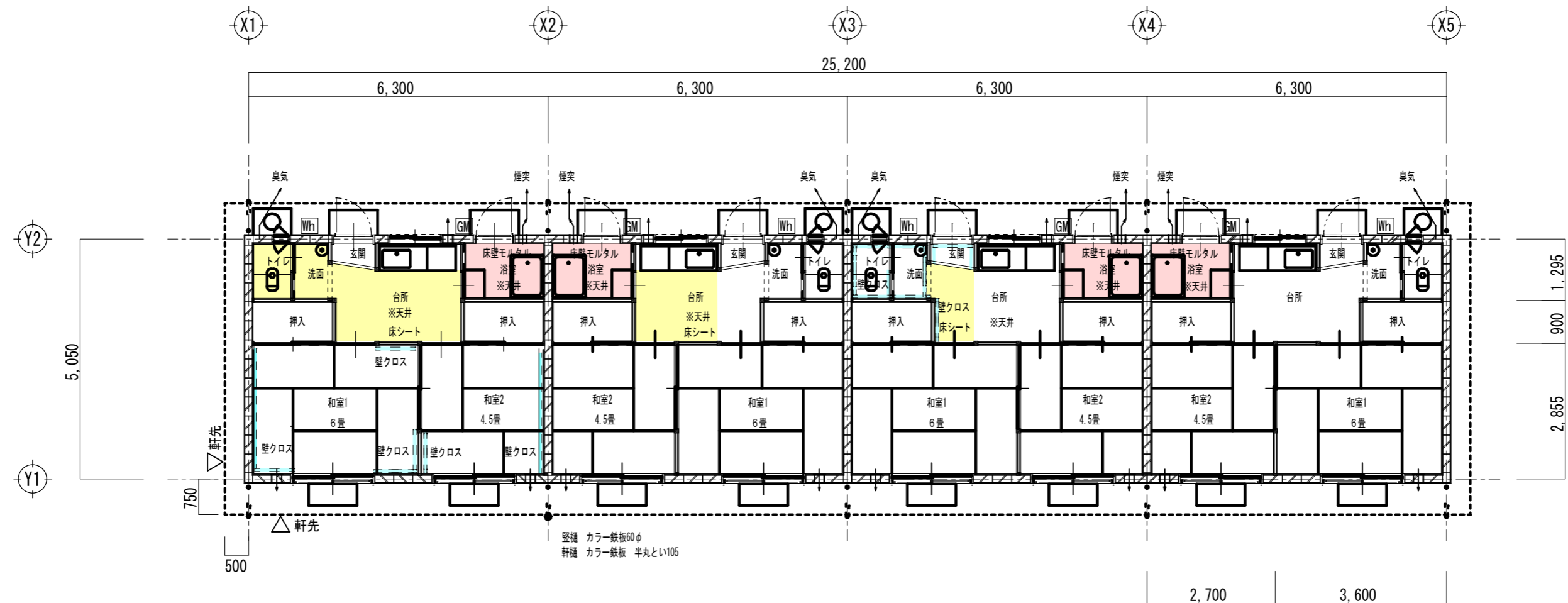
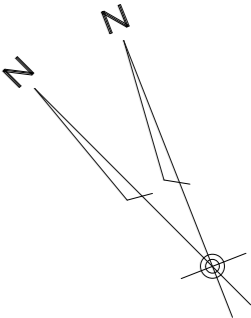
建築概要			
工 事 名	令和４年度　安曇野市営住宅アルプス団地解体工事		
建　　築　　主	安曇野市		
工事場所	安曇野市豊科田沢7039-32		
用途地域	指定なし　　　　　安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構　　　造	ＣＢ造　平屋建て		
最高高さ	４，５００　mm	最高軒高さ	３，１５０mm

各 面 積	3戸建て	4戸建て	合 計
敷 地 面 積	m ²		11,069.77 m ²
建 築 面 積	m ²	0 m ²	m ²
延 床 面 積 1棟	95.43 m ²	127.24 0 m ²	m ²
該当建物		昭和44年度建設 4号～7号	

屋 根	瓦葺 瓦棧 アスファルト-フィング ^o		ポーチ	コンクリート打放し金鍔押さえ	
	野地板 t=12.0	垂木45*45@455	床下	木製	
破風・鼻隠し	カラーG L 銅板 下地 木		断熱材	天井：なし 壁：なし 床下：なし 基礎：なし	
軒 裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート)	※アスベスト レベル3			
外 壁	C B壁モルタル下地の上リシン	※アスベスト レベル3	金物	樋：カラー銅板	
基 礎	基礎コンクリート	モルタル仕上げ ※アスベスト レベル3	その他	煙突	臭突 換気扇 レジスター 床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具	※アスベスト レベル3 (コーキング)			

階	室 名	床	下地	巾木	下地	壁	腰 部	壁	壁（上部含む）	天井	平均天井高 mm	備 考	
1	玄関	金鋳押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル	木下地 CB下地	パ－チル材 t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル	化粧 P B t=7.0 AEP塗装	—	框 75×135		
	和室 1（6.0畳）	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ－チル材 t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル	化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	壁一部：壁紙 みなしアスベスト		
	和室 2（4.5畳）	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ－チル材 t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル	化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	壁一部：壁紙 みなしアスベスト		
	押入 1	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり		
	押入 2	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板	ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり		
	浴室	金鋳押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル		モルタル		モルタル	セメント板 t=6.0 ※ （スレート）	CH =	円筒管：みなしアスベスト		
	台所	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ－チル材 t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル	セメント板 t=6.0 ※ （スレート）	CH = 2,330	ガス台流し		
	トイレ	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ－チル材 t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル	化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	下部 便槽（基礎）床：一部 長尺床シートみなし		
	手洗い	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ－チル材 t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル	化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	床：一部 長尺床シートみなし		
		昭和44年度建設 4号～7号						DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）		MAP NAME 仕 上 表 S44-4-7	MAP NO. A-07
								DATE		SCALE S=NON			
								R04.08.16					

Ⓡ4 昭和44年度建設 4号～7号



アスベスト関連 (レベル3みなし含む)
凡 例
※天井
天井材 : レベル3

モルタル・モルタル下地
壁クロス
床シート

平面図 (4 世 帯) S = 1 : 100

	昭和44年度建設 4号～7号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事 (I期)	MAP NAME 平面図2 (4 世 帯) S44-4-7	MAP NO. A-08
			DATE R04.08.16			SCALE S=1/100	

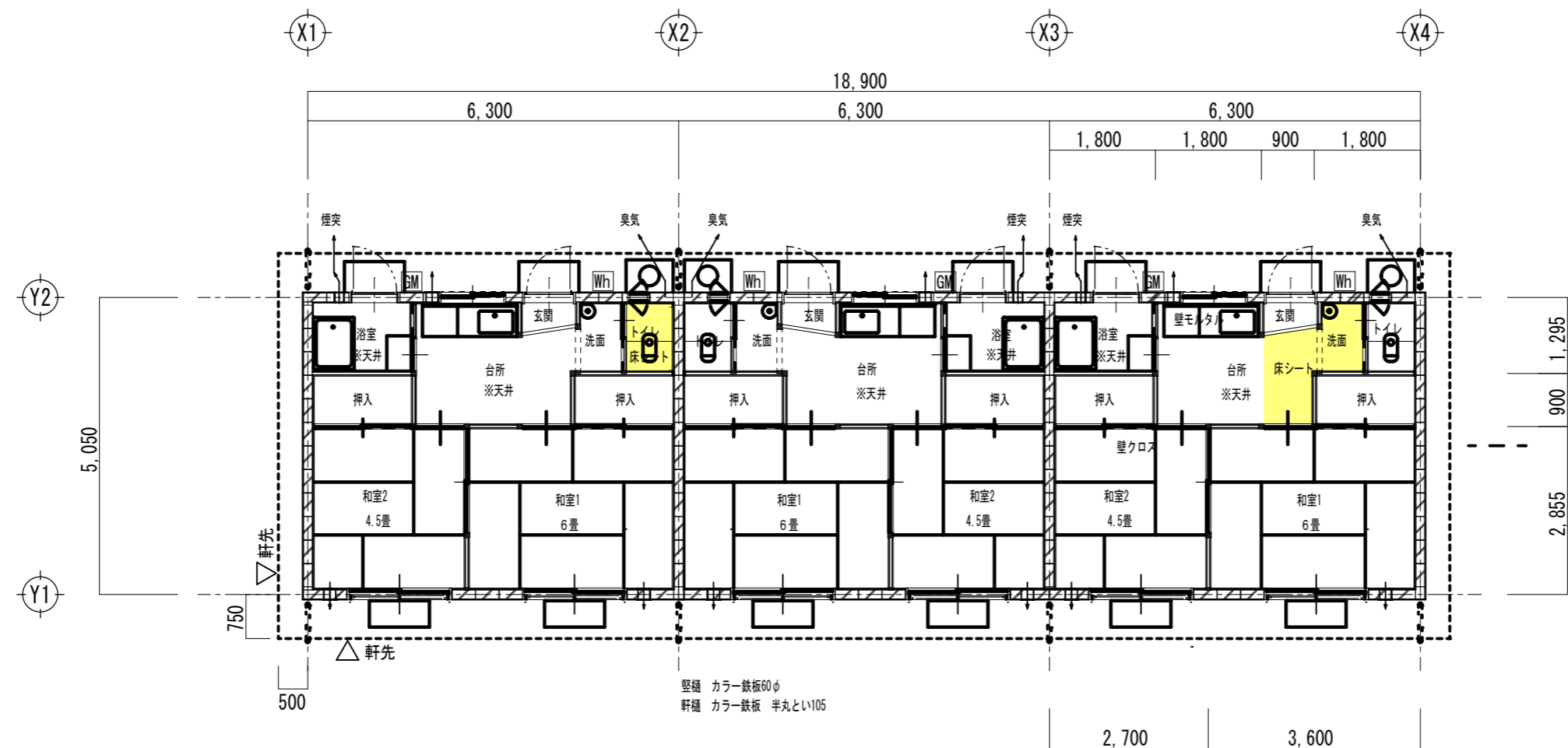
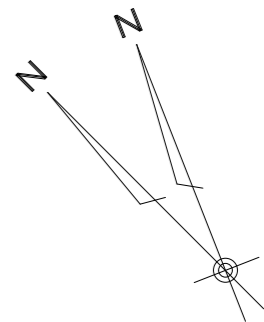
建築概要			
工 事 名	令和４年度　安曇野市営住宅アルプス団地解体工事		
建　　築　　主	安曇野市		
工事場所	安曇野市豊科田沢7039-32		
用途地域	指定なし　　　　　安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構　　　造	ＣＢ造　平屋建て		
最高高さ	４，５００　mm	最高軒高さ	３，１５０mm

各 面 積	3戸建て	4戸建て	合 計
敷 地 面 積	m ²		11,069.77 m ²
建 築 面 積	m ²	0 m ²	m ²
延 床 面 積 1棟	95.43 m ²	127.24 0 m ²	m ²
該当建物	昭和44年度建設 8号～10号		

屋 根	瓦葺 瓦棧 アスファルト-フィング	ポーチ	コンクリート打放し金鍔押さえ			
	野地板 t=12.0 垂木45*45@455	床下	木製			
破風・鼻隠し	カラーG L 銅板 下地 木	断熱材	天井：なし	壁：なし	床下：なし	基礎：なし
軒 裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート) ※アスベスト調査対象					
外 壁	C B壁モルタル下地の上リシン ※アスベスト調査対象	金物	樋：カラー銅板			
基 礎	基礎コンクリート モルタル仕上げ	その他	煙突	臭突	換気扇	レジスター 床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具 ※アスベスト調査対象 (コーキング)					

階	室 名	床	下地	巾木	下地	壁	腰 部	壁	壁（上部含む）	天井	平均天井高 mm	備 考				
1	玄関	金鍔押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル	木下地 CB下地	パ ^ー チ ^ル ^ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	—	框 75×135 床：一部 長尺床シートみなし				
	和室 1（6.0畳）	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ ^ー チ ^ル ^ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300					
	和室 2（4.5畳）	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ ^ー チ ^ル ^ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装 ※		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300					
	押入 1	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板		ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり				
	押入 2	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板		ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり				
	浴室	金鍔押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル		モルタル		モルタル		セメント板 t=6.0 ※ （スレート）	CH =	円筒管：みなしアスベスト				
	台所	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ ^ー チ ^ル ^ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		セメント板 t=6.0 ※ （スレート）	CH = 2,330	ガス台流し				
	トイレ	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ ^ー チ ^ル ^ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	下部 便槽（基礎） 床：一部 長尺床シートみなし				
	手洗い	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ ^ー チ ^ル ^ド t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	床：一部 長尺床シートみなし				
							凡例									
						※アスベスト調査対象を示す										
		昭和44年度建設 8号～10号							DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（I期）		MAP NAME	仕 上 表 S44-8-10		MAP NO. A-09
		DATE		SCALE												
									R04.08.16			S=NON				

④ 昭和44年度建設 8号～10号



アスベスト関連（レベル3みなし含む）
凡 例
※天井
天井材：レベル3
モルタル・モルタル下地
壁クロス
床シート

平面図（3世帯） S = 1 : 100

	昭和44年度建設 8号～10号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）	MAP NAME 平面図1（3世帯） S44-8-10	MAP NO. A-10
			DATE R04.08.16			SCALE S=1/100	

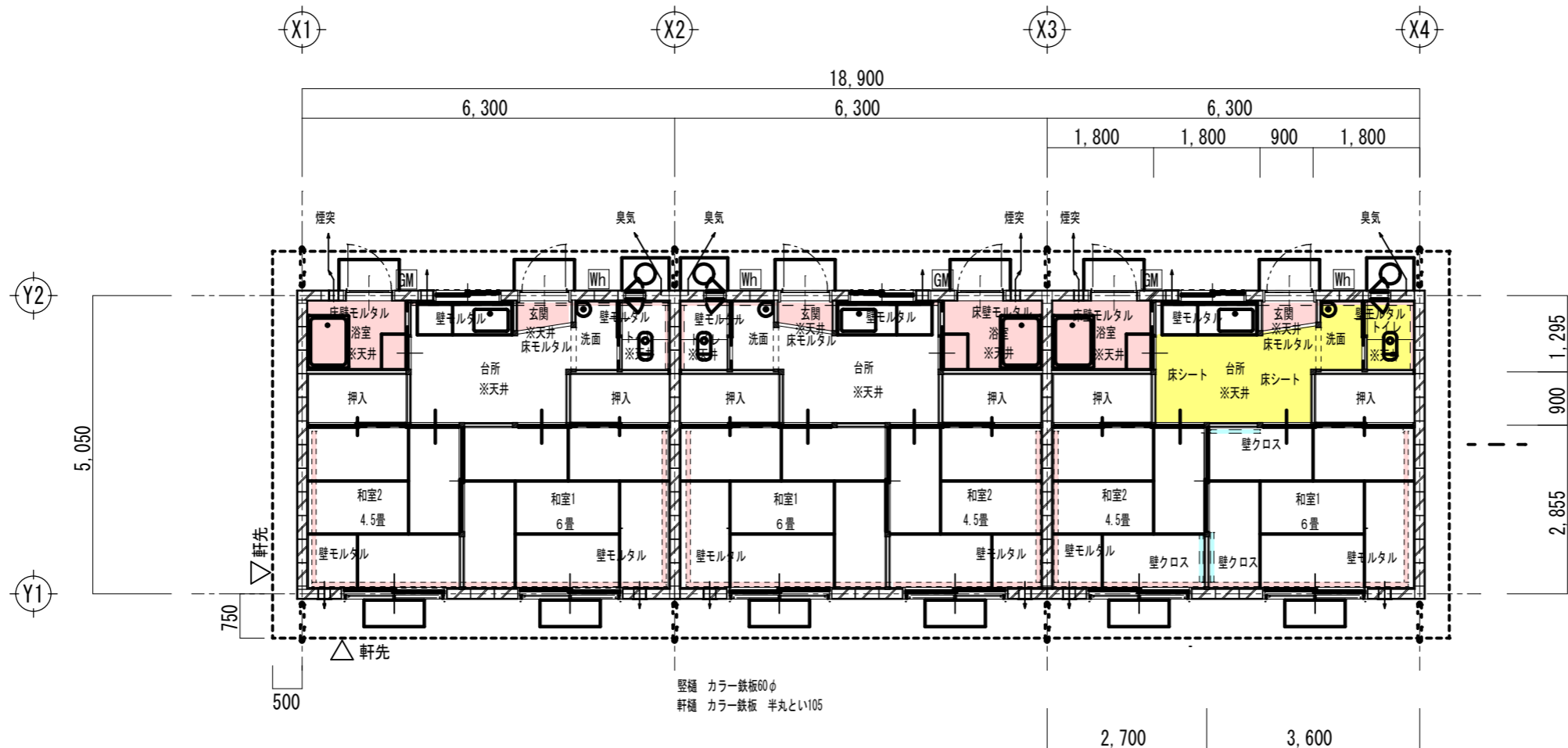
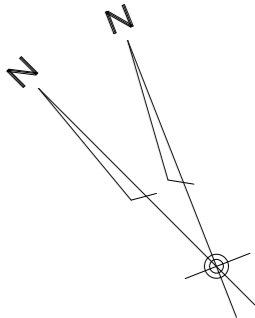
建築概要			
工 事 名	令和４年度　安曇野市営住宅アルプス団地解体工事		
建　　築　　主	安曇野市		
工事場所	安曇野市豊科田沢7039-32		
用途地域	指定なし　　　　　安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構　　　造	ＣＢ造　平屋建て		
最高高さ	４，５００　mm	最高軒高さ	３，１５０mm

各 面 積	3戸建て	4戸建て	合 計
敷 地 面 積	m ²		11,069.77 m ²
建 築 面 積	m ²	0 m ²	m ²
延 床 面 積 1棟	95.43 m ²	127.24 0 m ²	m ²
該当建物	昭和44年度建設 11号～13号		

屋 根	瓦葺 瓦 棧 アスファルト・フィング	ポーチ	コンクリート打放し金鍔押さえ			
	野地板 t=12.0 垂木45*45@455	床下	木製			
破風・鼻隠し	カラーG L 銅板 下地 木	断熱材	天井：なし	壁：なし	床下：なし	基礎：なし
軒 裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート)					
外 壁	C B 壁モルタル下地の上リシン	金物	樋：カラー銅板			
基 礎	基礎コンクリート モルタル仕上げ	その他	煙突	臭突	換気扇	レジスター 床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具 ※アスベスト調査対象 (コーキング)					

階	室 名	床	下地	巾木	下地	壁	腰 部	壁	壁（上部含む）	天井	平均天井高 mm	備 考				
1	玄関	金鍔押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル	木下地 CB下地	パ－チクル－ト t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 AEP塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	—	框 75×135				
	和室 1（6.0畳）	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ－チクル－ト t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	壁一部：壁紙 みなしアスベスト				
	和室 2（4.5畳）	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	木下地 CB下地	パ－チクル－ト t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,300	壁一部：壁紙 みなしアスベスト				
	押入 1	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板		ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり				
	押入 2	ラワン合板（中段とも）	木下地組	見切り		ラワン合板		ラワン合板		ラワン合板	CH = 2,300	押入・中段あり				
	浴室	金鍔押さえ（土間コンクリート）	モルタル	モルタル		モルタル		モルタル		セメント板 t=6.0 ※ （スレート）	CH =	円筒管：みなしアスベスト				
	台所	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ－チクル－ト t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	ガス台流し				
	トイレ	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ－チクル－ト t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	下部 便槽（基礎）床：一部 長尺床シートみなし				
	手洗い	無垢フローリング（板） t12.0	木下地組	木製	木下地 CB下地	パ－チクル－ト t6.0 AEP塗装 モルタル t15 AEP塗装		P B t=7.0 無塗装 モルタル		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2,330	床：一部 長尺床シートみなし				
							凡例									
						※アスベスト調査対象を示す										
		昭和 4 4 年度建設 11号～13号							DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和 4 年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）		MAP NAME	仕 上 表 S44-11-13		MAP NO. A－1 1
		DATE		R04. 08. 16					SCALE	S=NON						

④ 昭和44年度建設 11号～13号

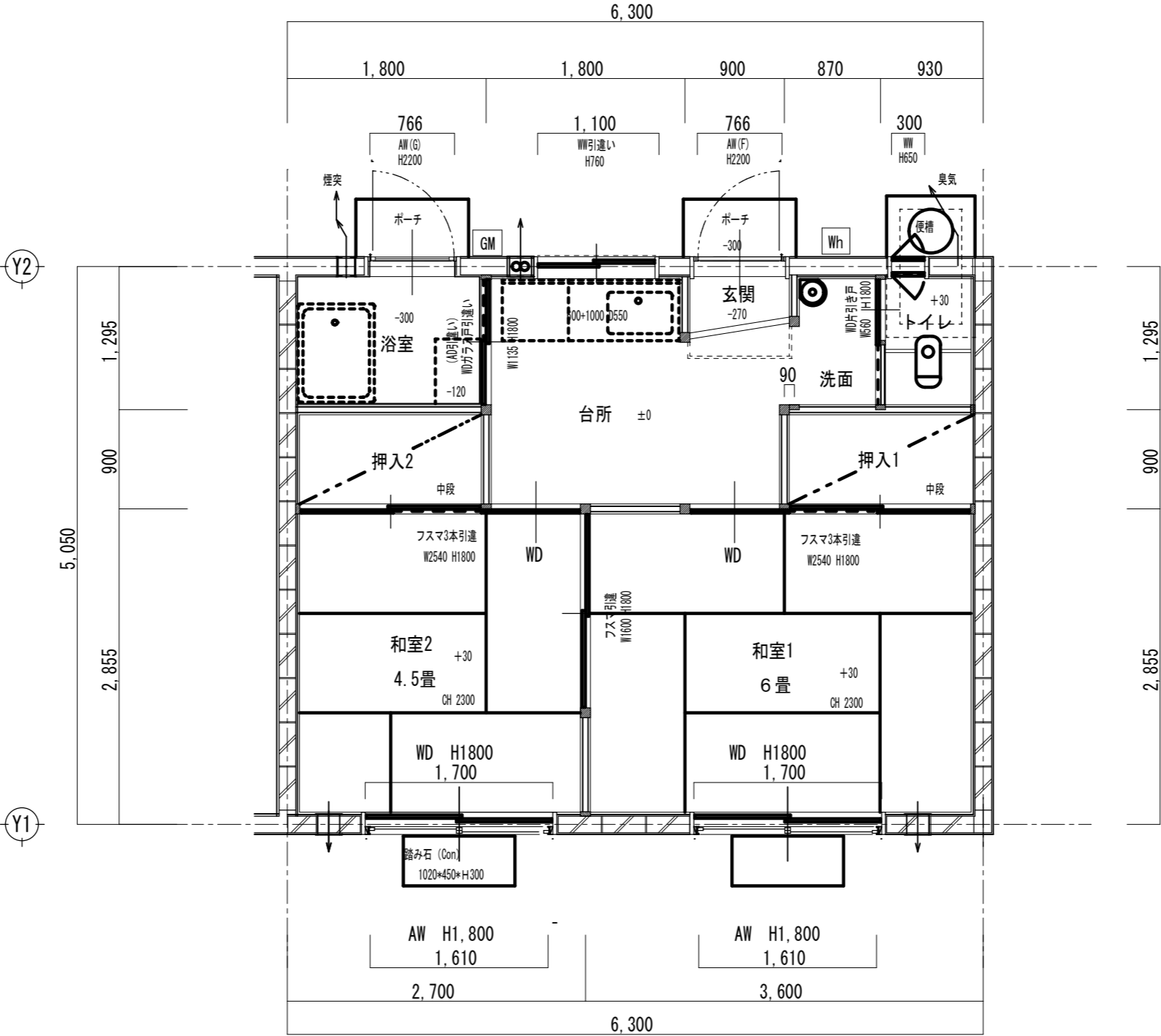
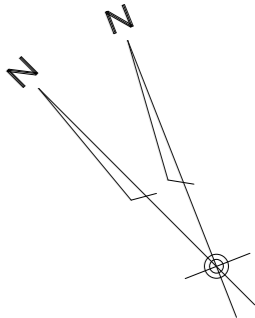
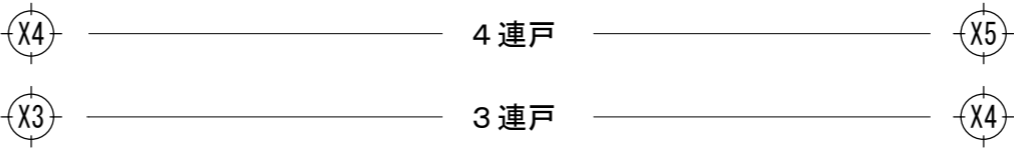


平面図 (3 世 帯) S = 1 : 100

	昭和44年度建設 11号～13号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）	MAP NAME 平面図1（3世帯） S44-11-13	MAP NO. A-12		
			DATE R04.08.16			SCALE S=1/100			

3連戸 ④ 昭和44年度建設 1号～3号
④ 昭和44年度建設 8号～10号
④ 昭和44年度建設 11号～13号

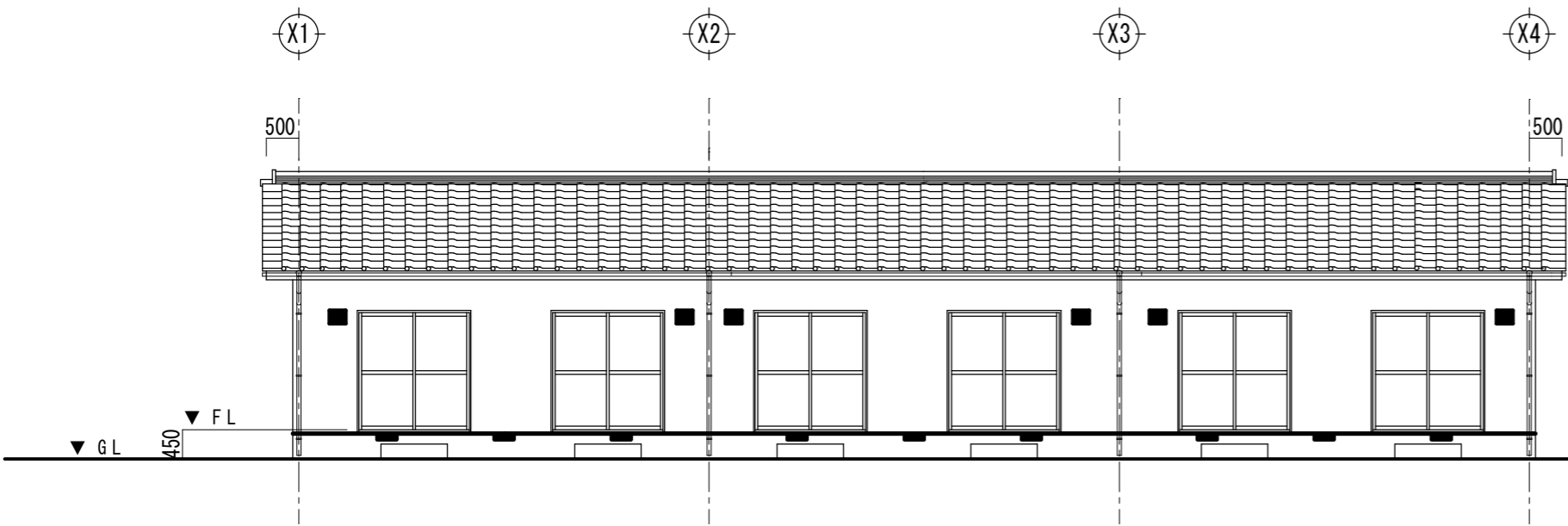
4連戸 ④ 昭和44年度建設 4号～7号



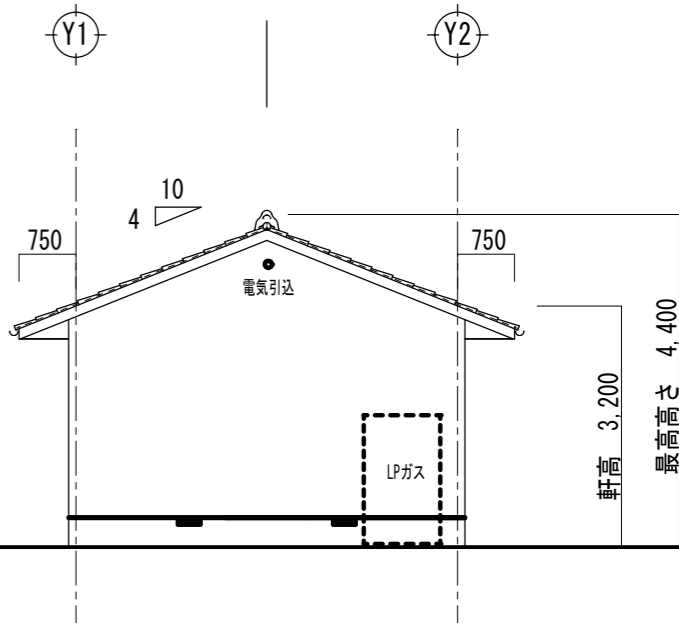
木 寸 法	
柱	90×90
付柱	90×40
畳寄せ	40×60
敷居	45×90
鴨居	35×90
付鴨居	35×90 35×40
廻り縁	45×45
巾木	40×90
腰見切り縁	40×35
木枠	t 35

	昭和44年度建設 1号～3号	昭和44年度建設 4号～7号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
	昭和44年度建設 8号～10号					令和4年度	平 面 詳 細 図	A-13
	昭和44年度建設 11号～13号			DATE		安曇野市営住宅アルプス団地解体工事 (I期)	SCALE	
				R04.08.16			S=1/50	

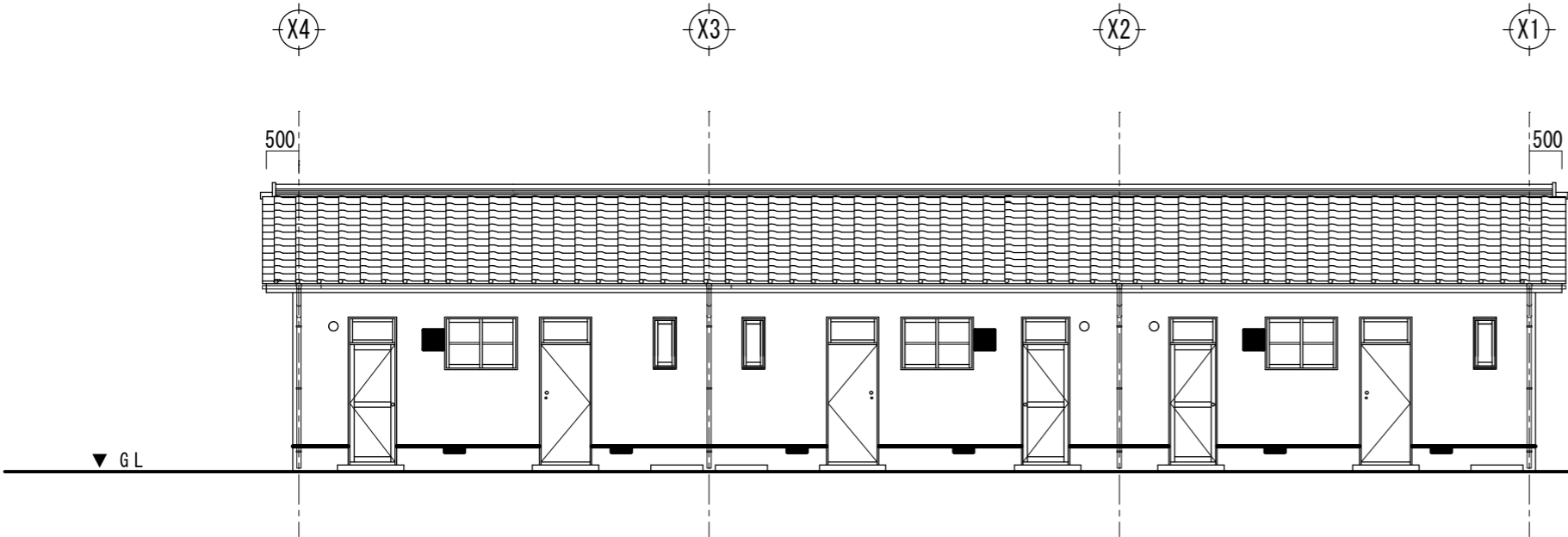
R4 昭和 4 4 年度建設 8 号～10号
R4 昭和 4 4 年度建設 8 号～10号
R4 昭和 4 4 年度建設 11号～13号



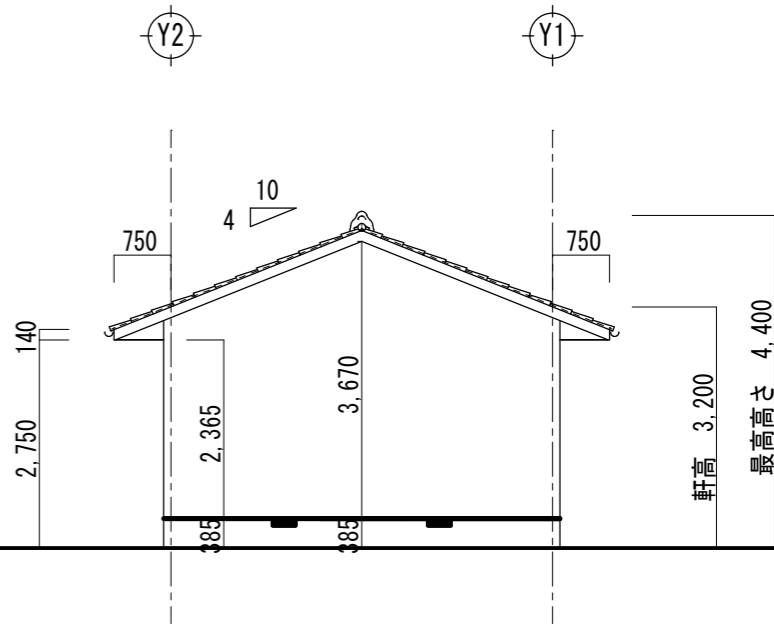
南側立面図 S = 1 : 100



西側立面図 S = 1 : 100

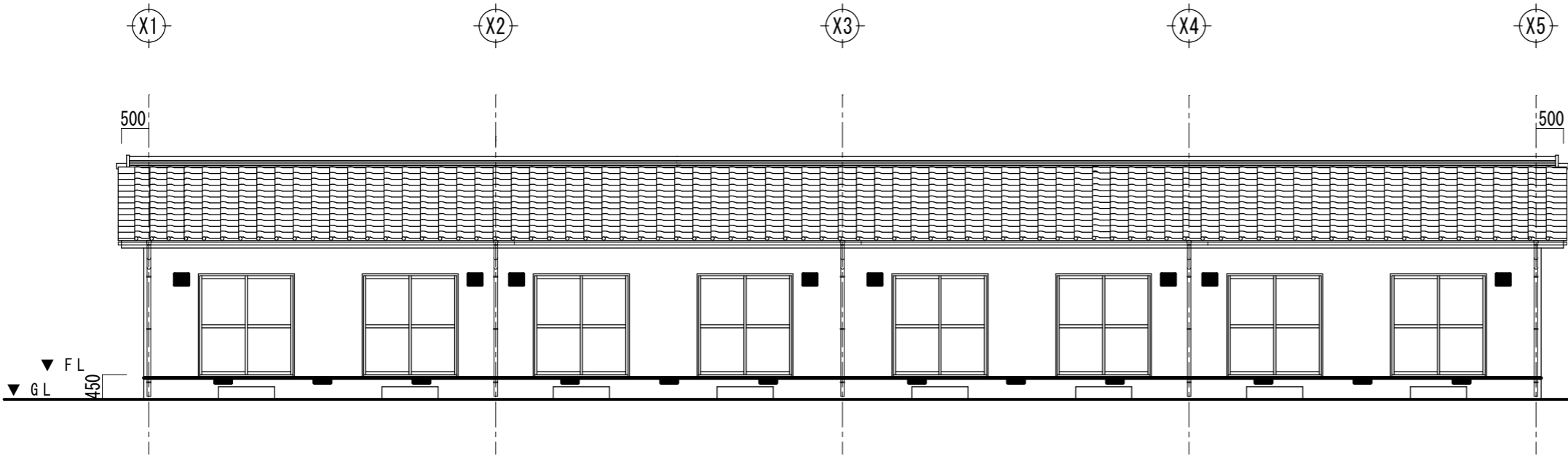


北側立面図 S = 1 : 100

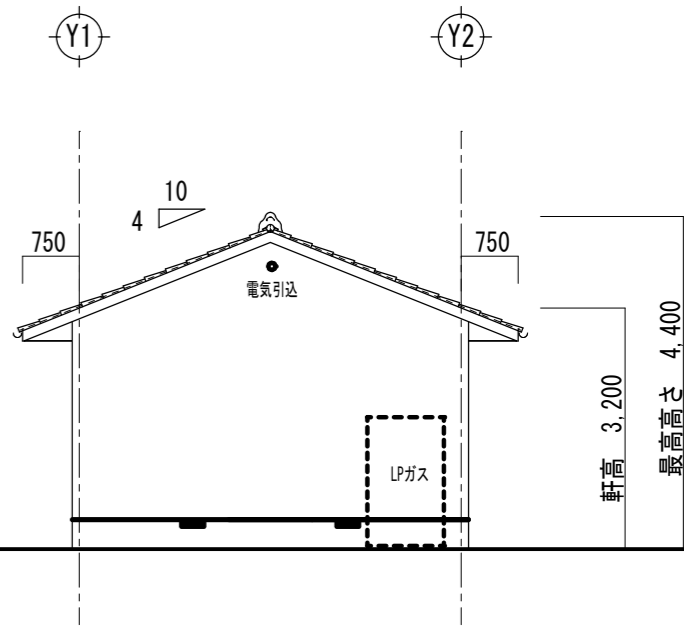


東側立面図 S = 1 : 100

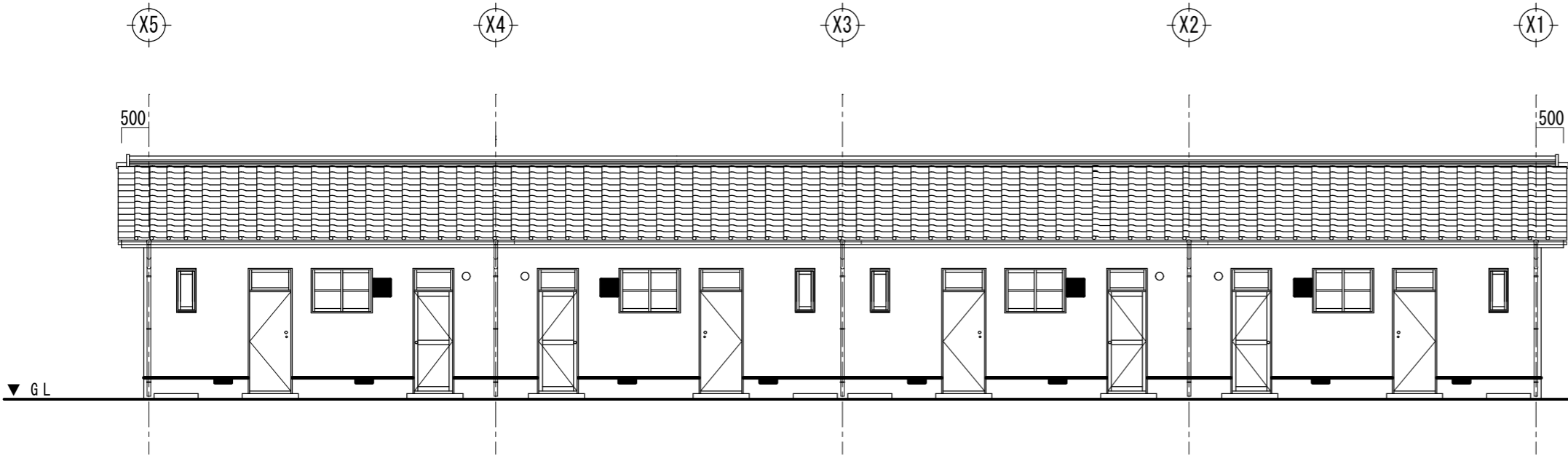
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和 4 年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）	MAP NAME 立 面 図 1 （ 3 世 帯 ）	MAP NO. A－1 4
	DATE R04.08.16		SCALE S=1/50				



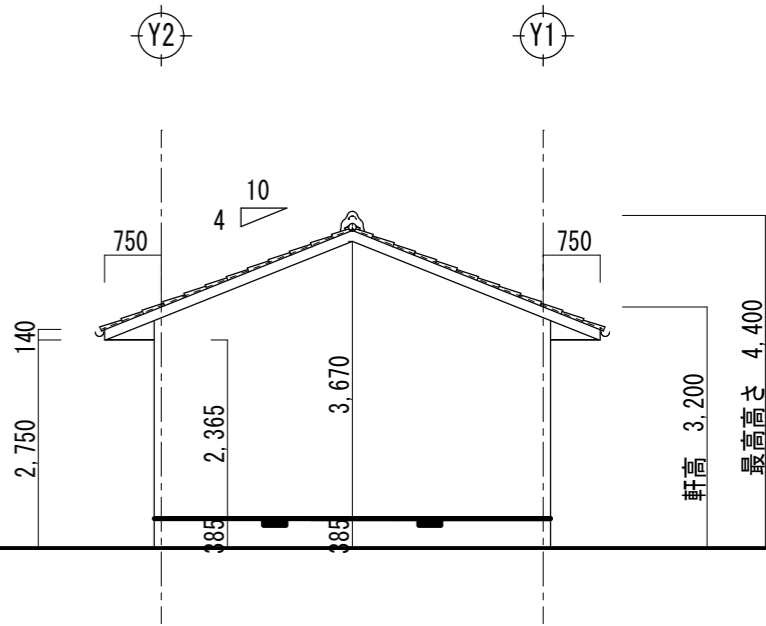
南側立面図 S = 1 : 100



西側立面図 S = 1 : 100

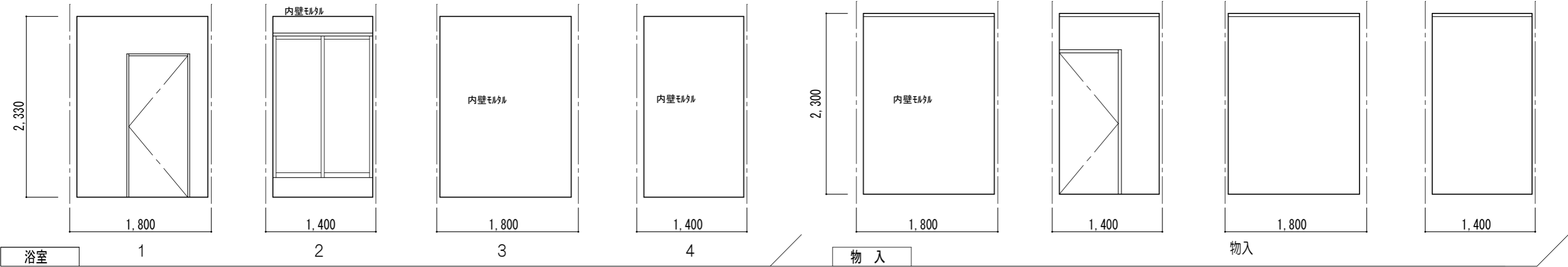
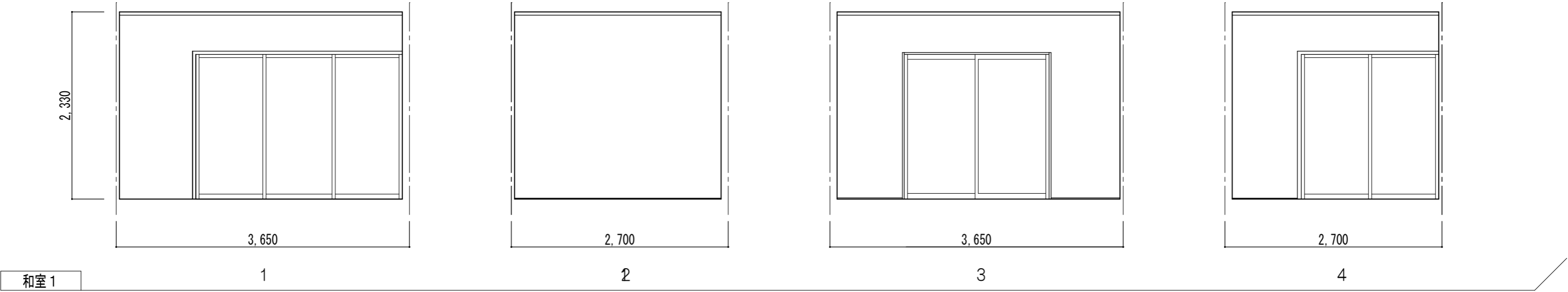


北側立面図 S = 1 : 100

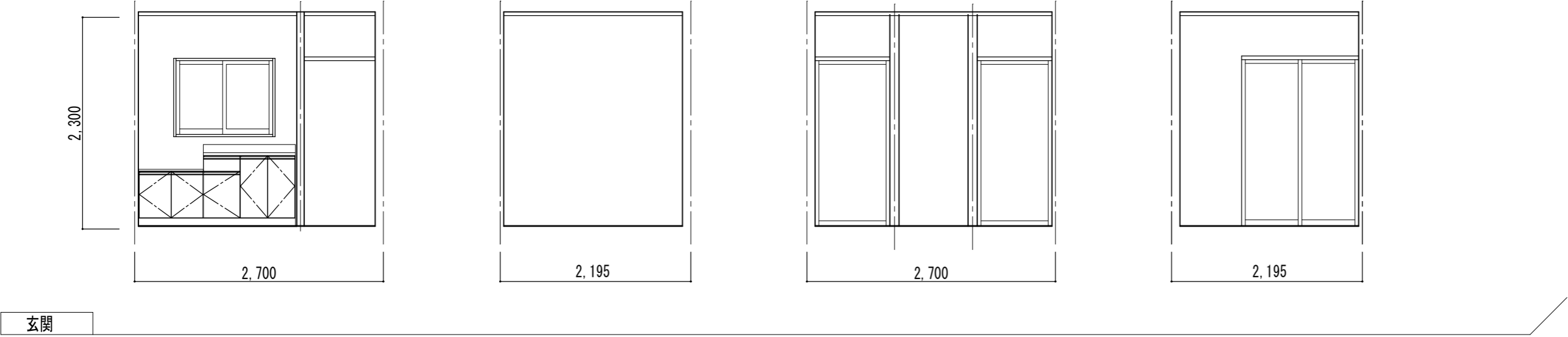
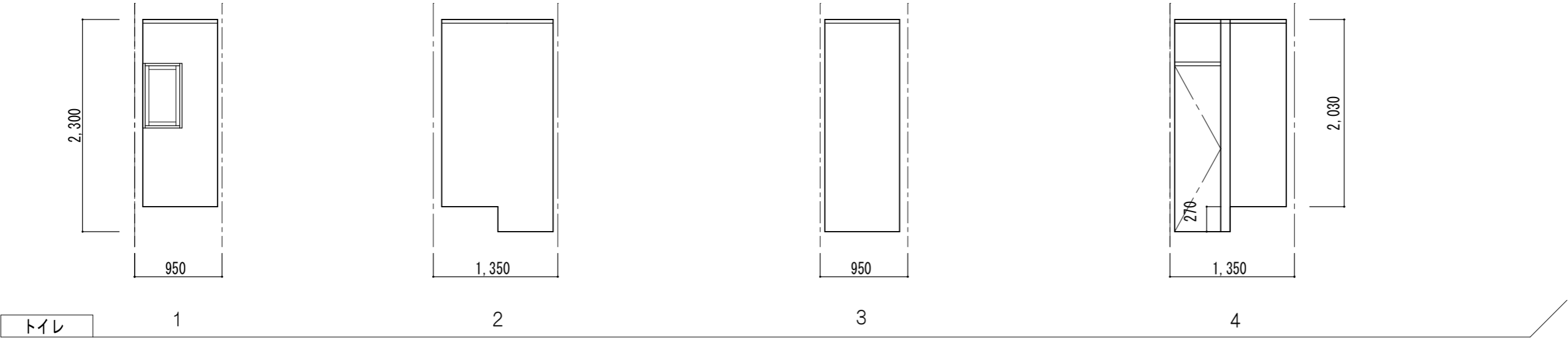


東側立面図 S = 1 : 100

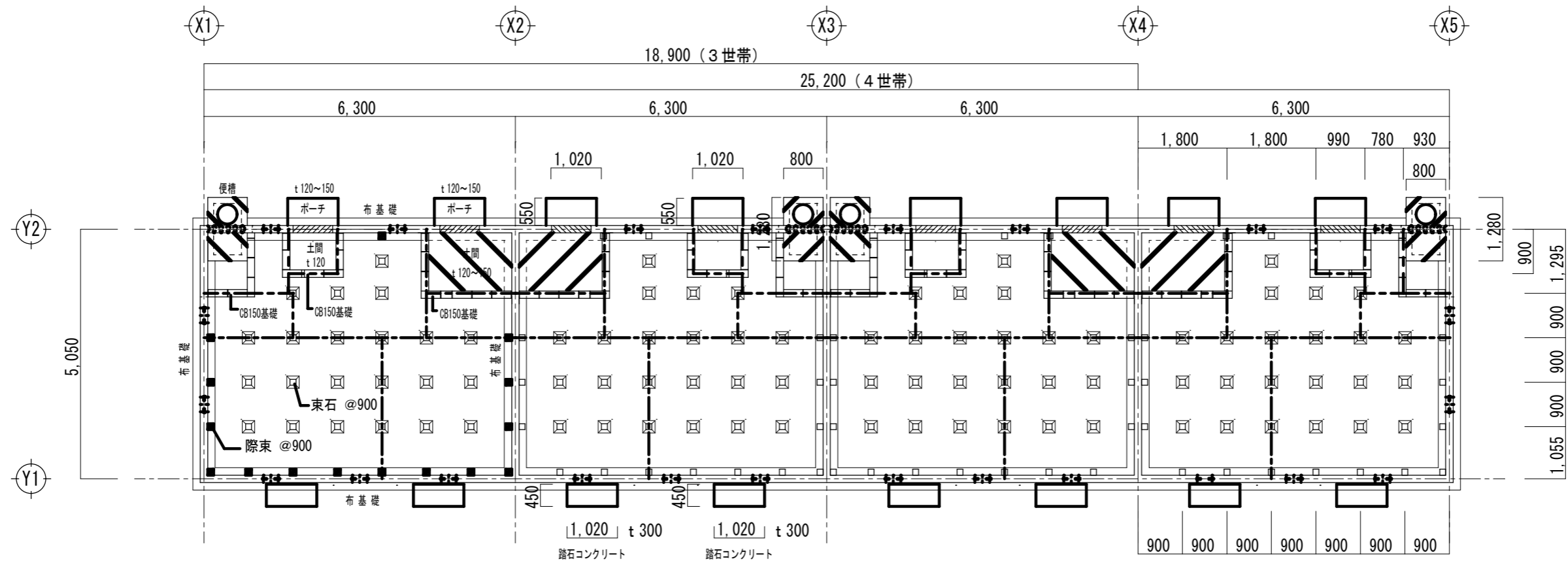
	昭和44年度建設 4号～7号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE	R04.08.16	令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（I期）	立面図2（4世帯）	A-15
						SCALE S=1/50	



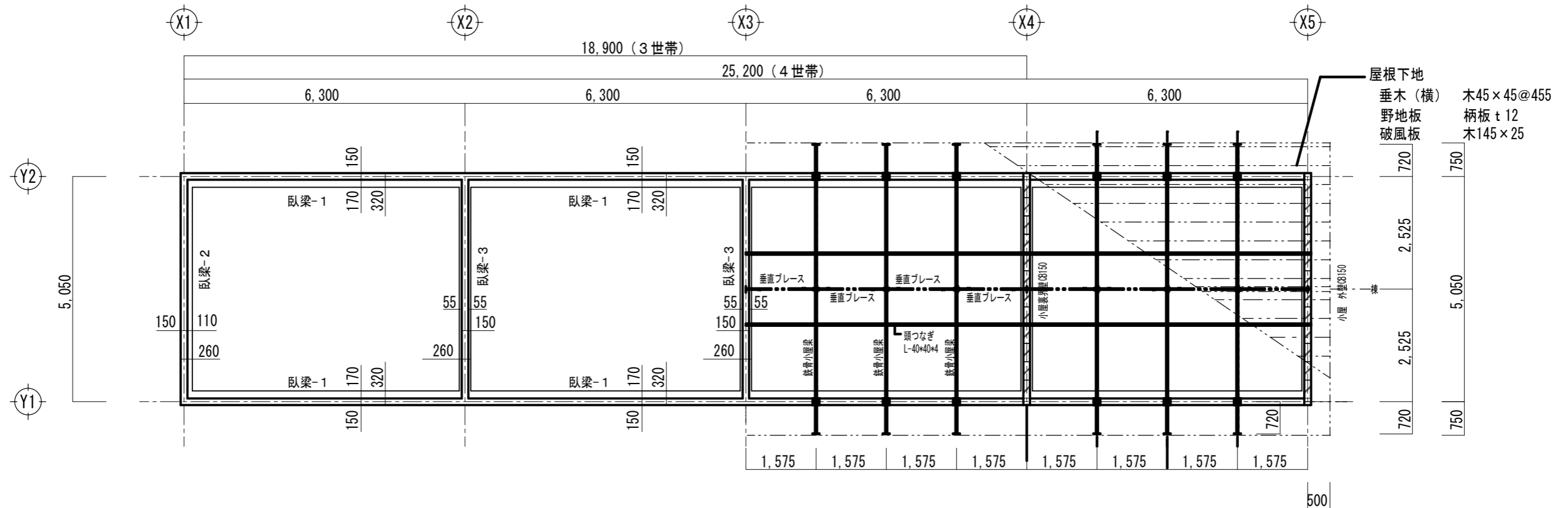
	昭和44年度建設 1号～3号	昭和44年度建設 4号～7号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
	昭和44年度建設 8号～10号					令和4年度	展開図 1	A-16
	昭和44年度建設 11号～13号			DATE		安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（I期）	SCALE	
				R04.08.16			S=1/50	



	昭和44年度建設 1号～3号	昭和44年度建設 4号～7号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
	昭和44年度建設 8号～10号					令和4年度	展開図 2	A-17
	昭和44年度建設 11号～13号			DATE		安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（I期）	SCALE	
				R04.08.16			S=1/50	

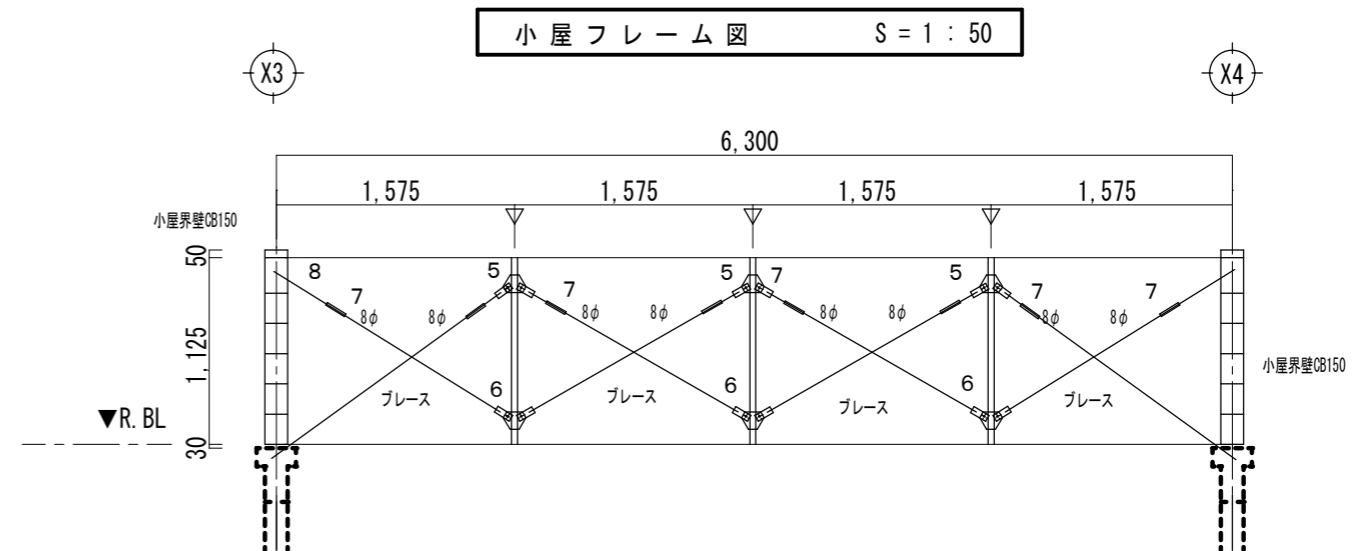


基礎伏せ図 図 1 : 100

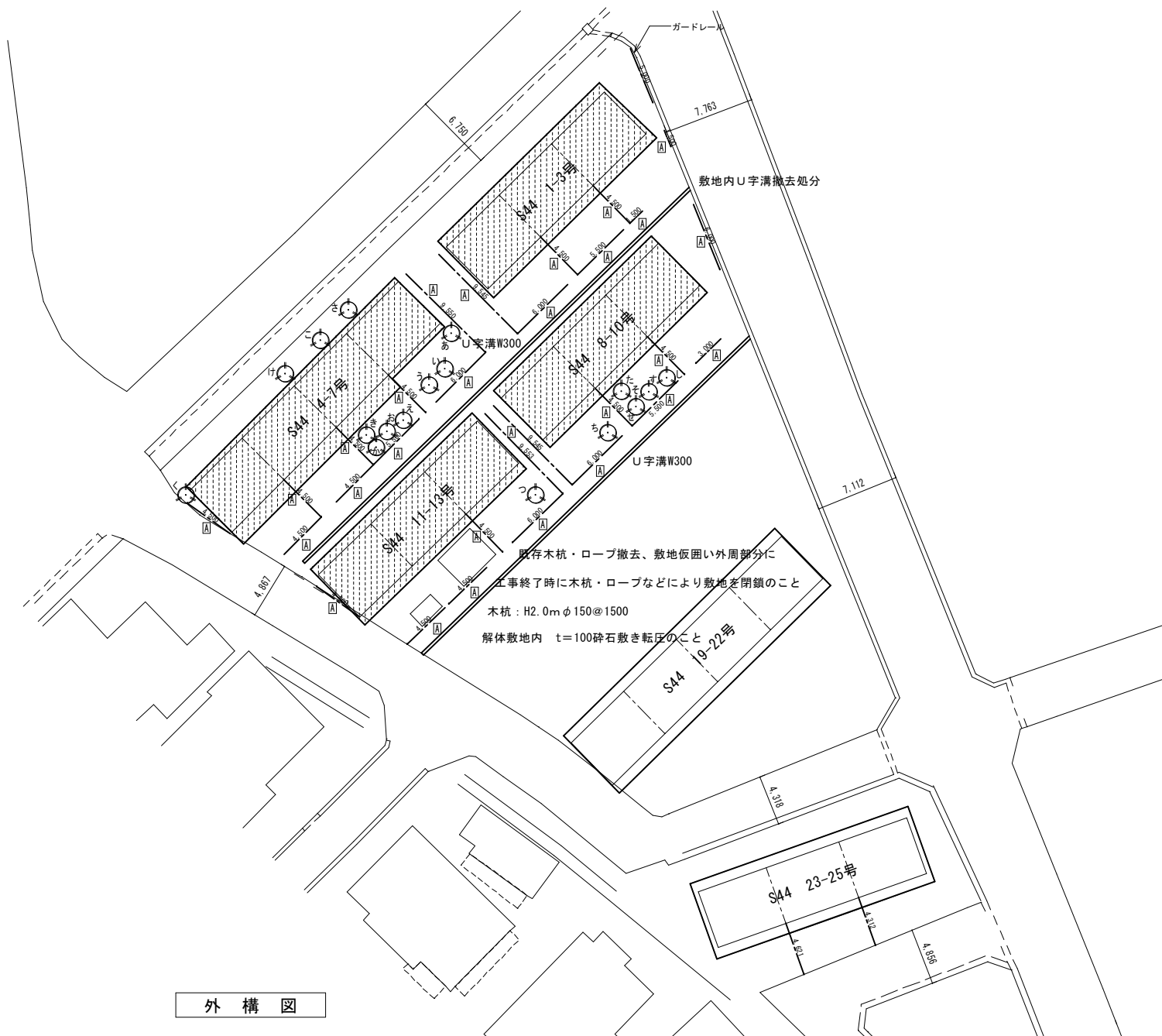


小屋伏せ図 図 1 : 100

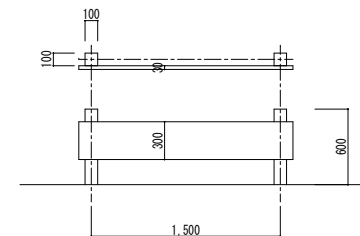
	昭和44年度建設 1号～3号	昭和44年度建設 4号～7号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
	昭和44年度建設 8号～10号					令和4年度	基礎伏せ図・小屋伏せ図	A-18
	昭和44年度建設 11号～13号			DATE		安曇野市営住宅アルプス団地解体工事 (I期)	SCALE	
				R04.08.16			S=1/100	



	昭和44年度建設 1号～3号 昭和44年度建設 4号～7号		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（I期）	MAP NAME 基礎躯体詳細図・小屋梁図	MAP NO. A-19
	昭和44年度建設 8号～10号						
	昭和44年度建設 11号～13号		DATE		SCALE		
			R04.08.16		S=1/100		



外 構 図



A コンクリート塀 立面図・平面図 S=1/30

【 樹 木 】

- あ … φ 1,800、H=4,000
- い … φ 1,800、H=4,000
- う … φ 1,800、H=4,000
- え … φ 1,800、H=4,000
- お … φ 1,800、H=4,000
- か … φ 1,800、H=4,000
- き … φ 1,800、H=4,000
- く … φ 1,500、H=3,000
- け … φ 1,000、H=2,200
- こ … φ 1,000、H=2,200
- さ … φ 1,000、H=2,200
- し … φ 1,200、H=3,000
- す … φ 700、H=1,500
- せ … φ 700、H=1,500
- そ … φ 700、H=1,500
- た … φ 700、H=1,500
- ち … φ 1,000、H=1,500
- つ … φ 1,500、H=2,200

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
					令和4年度 安曇野市営住宅アルプス団地解体工事（Ⅰ期）	外構配置図	A-20
			DATE R04.08.18			SCALE S=1/250	